

布告書 44 (Bulletin of Zoological Nomenclature 60 (4): 263 (December 2003) に掲載) により、条 74.7.3 が以下のように改正された (なお条 80.1 も参照のこと)。本改正は、2000 年 1 月 1 日に遡って効力を発し、したがって、1999 年 12 月 31 日より後に公表されたすべての著作物に適用される。

〈改正後〉

74.7.3. 意図した指定であることを述べるはっきりした言明を含んでいなければならない。(ある標本を“レクトタイプ”として引用するだけでは不十分である。)

例. “ここで指定されたレクトタイプ”, “本指定によるレクトタイプ”, “私はレクトタイプとして標本 X を選ぶ”などの言明は本要求を満たすが, “レクトタイプ: 標本 X”は満たさない。

勧告 74G. 標本管理目的で行うべきではない。 レクトタイプの指定は、命名法の安定性を高めるためのレビジョンその他の分類学的著作物の一部として行うべきであって、単に標本管理上の都合で行うべきではない。

3.1 [6 行目] 1758 年に出版された他のいかなる著作物も
→ 1758 年に出版された他のいかなる著作物のなかの学名も

11.6.1 [4 行目] 適格になるが、日付は異名として最初に公表された日付をとる
→ 異名として最初に公表されたときから適格になる

19.1 および 19.1.1 [全文]
→ 19.1. **不当な修正名と不正な綴り。** 適格名の不当な修正名は、適格性の他の要求を満たしていることを条件に、適格名である [条 33.2.3]。しかし、不正な後綴りは、適格名ではない [条 33.3]。

29.2 [見出し] **科階級群の接尾辞**
→ **科階級群名の接尾辞**

30.1.1 例 [2 ~ 3 行目] *Anser* (ガチョウ) は男性形で終わる学名なので男性
→ *Anser* (ガチョウ) はこの語で終わる名と同様に男性

45.2 [1 ~ 2 行目] 名義種階級群タクソンとその小名は
→ 名義種階級群タクソンとその学名は

47.2 [3 行目] その小名は
→ その学名は

61.3.4 [2 行目] それらタクソンの小名は
→ それらタクソンの学名は

67.8 [4 行目] 条 33.2.4
→ 条 33.2.3

77.3.5 [1 行目] 提案書
→ 提案

77.5 [6 行目] 手続きしたがって
→ 手続きにしたがって

78.3.1 [1 行目] 提案書
→ 提案

[XV ページ 35 行目] 種や亜種の学名
→ 種や亜種の小名

[31 ページ右注] 小指的接尾辞
→ 指小的接尾辞

縮小接尾辞 : diminutive suffix.
指小的接尾辞。

[75 ページ右注 (75.5 について新設)]
破棄 : 担名タイプであるという命名法的地位を剥奪すること。75.6 と 75.8 についても同じ。

破棄 : 担名タイプであるという命名法的地位を剥奪すること。75.6 と 75.8 についても同じ。

[92 ページ右注] 正しくない
→ 正しくない~

正しくない~ (旧訳)。

[97 ページ右注 (ネオタイプについて新設)]
破棄 : 担名タイプであるという命名法的地位を剥奪すること。75.5, 75.6, 75.8 も参照のこと。

破棄 : 担名タイプであるという命名法的地位を剥奪すること。75.5, 75.6, 75.8 も参照のこと。

このページを B5 用紙に印刷すると、文字が右注のサイズになります。各自、好みに応じ、当該箇所にて切り張りするなどしてご利用下さい。